

【学校経営の理念】 未来を拓く金曽木っ子の育成

台東区立金曽木小学校
校長 大木 毅

【めざす学校像】

- 「笑顔あふれる『一人一人が主役の学校』」の創造
- 児童が学ぶことを楽しいと思える学校
 - 教職員がやりがい生きがいを感じる学校
 - 保護者が信頼して我が子を通わせたい学校
 - 地域に愛され地域と共に成長できる学校

【学校教育目標：めざす児童像】

- ・自ら学ぶ子
- ・思いやりのある子
- ・たくましい子
- ・自分のよさを伸ばす子

【学校経営方針】～『仮設校舎の学校生活ならではの活動』の推進～

- これからの社会を創り出していく児童が、社会や世界に向き合い関わり自らの人生を切り拓（ひら）いていくために求められることを、社会背景、地域、家庭の環境、児童の実態や発達段階を踏まえ、「開かれた教育課程」を作成し、「知」「徳」「体」の具体的な目標を設定し、検証と改善を行いながら学校経営を行う。
- 学校は地域のコミュニティの要である。学校を通して、児童や保護者、地域とのつながりを広げたり深めたりする。児童・保護者・地域の思いに寄り添い、保護者や地域との連携を大切にして学校経営を行う。
- 教育目標を達成するために、教師の指導力向上を目指す。職層や経験に応じたOJTを実施するとともに、研修会、研究会への参加を奨励し、教師の専門性の向上を図り、教師一人一人の個性や持ち味を児童の指導に生かしていく。また、年間を通して校内研究会、研修会を実施する

【金曽木小学校の教師像】

- 〈1〉組織人として積極的に連携・協働し成果をあげる
- 全員体制で取り組む
- 決まったことは、全員で共有し、足並みを揃えて実行する
- 「よい習慣」をめざした同一步調
- ・「金曽木生活スタンダード『5つのあ』」の徹底
 - ・不登校の未然防止、いじめの早期発見と対応、週目標の指導
- 同僚性 人とのつながりを大切にする
- 積極的に仲間とかかわる（自分事として考える）
- ・横のつながり：同学年、学級間の指導の共有
 - ・縦のつながり：異学年、各職層との情報共有
- キャリアプランを考える（5・10年後の自身の姿）
- ・自己申告によるPCDA、管理職との面談
 - ・主幹教諭、主任教諭、学年主任の学校経営へ参画意識向上
- 心身の健康・やりがい・満足感
- ・働き方改革（校務改善により子供たちのと時間を増やす）
 - ・努力の成果を目に見える形で共有する。
- 〈2〉質の高い教育を目指す
- 児童・保護者・地域のニーズを考える
- ・PTA活動、地域行事に積極的に参加する。
 - ・行事後のアンケート、学校評価（アンケート）の実施
- 学校の見える化
- ・学校行事、おたより、HP、授業公開、個人面談、保護者会等
- 信頼関係を大切にする
- ・コミュニケーションを図り、児童の実態に応じた指導をする。
 - ・保護者と指導の共有を図っていく。
- 地域の歴史・文化を知る・楽しむ・生かす
- 日々の自己研鑽（研究会、研究会へ積極的な参加）
- ・年間を通して、道徳の指導法の研究を行う。
 - ・OJTの充実（校内研修計画の作成、実行・相互授業観察）
- 〈3〉人権感覚が高く、服務に対する厳正な態度
- 服務事故防止・人権感覚 チェックリストの活用
- ・公教育に携わる者としての自覚〈服務事故の代償の大きさ〉
 - ・体罰・不適切な指導の根絶〈プロの教育者としての冷静さ〉
 - ・個人情報の管理の徹底〈電子データ、紙の管理、机上整理〉
 - ・人権感覚を磨く ■人権教育プログラムの活用
 - ・教師は「環境」である 呼び捨て・あだ名× 「さん」付け
 - ・報告・連絡・相談／記録を取る。
- ※整理整頓：机上整理、共有場所や共有物ほど大切に扱う。
- ※互いに、注意できる関係を築く。（事故の未然防止）

【確かな学力の育成】

- ◎「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善
- ・児童の興味・関心を引き出し、対話やグループ学習を通して、主体的に学ぶ授業展開を行う
- 1) 計画的&共通指導による学力向上の基盤をつくる。
 - ・児童の実態に応じて、個別最適な指導の充実を図る。
 - 2) 自学の習慣化を図る。
東京ベーシックドリル・タブレットPCによる反復学習・家庭学習
 - 3) 読書の習慣化。
読書週間・よむよむタイム
学校図書館の活用
 - 4) **タブレット端末等のICT機器を効果的活用した指導**

【豊かな心の涵養】

- ◎道徳性を養い、いじめや偏見差別をなくそうとする態度を育てる。
- ・指導方法を工夫した道徳教育の充実を図る
- 5) 多面的・多角的に考え、議論する授業を展開し「特別の教科道徳」の充実を図る。
 - 6) **「金曽木生活スタンダード」5つの「あ」を徹底し、規範意識を育てる。**
 - ・自他を大切にする人権感覚を磨く
 - 7) 個に応じた指導を大切にし、信頼関係を築きながら、自己肯定感を高める。
 - 8) いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努める。
 - 9) 幼保こ中との連携・異学年交流活動の充実を図る。

【健やかな体の育成】

- ◎よりよい生活習慣と、健康・体力の保持増進に努める児童を育成する。
- ・基本的な生活習慣の確立を図る
- 10) 「早寝早起き朝ごはん」を推進し、規則正しい生活習慣を確立する。
 - ・運動の習慣化と体力向上を目指す
 - 11) 体力テストの結果を受けて、自分の目標に向かって努力する態度を身に付ける。
 - 12) **近隣中学校の校庭使用やセントラルでの水泳・体育的活動を充実させる。**
 - ・仮設校舎内での運動
 - ・近隣施設の効果的利用
 - ・外部講師の活用

【社会に開かれた

教育課程の実現】

- ◎内外に開かれた、安心・安全を最優先した学びの環境を整える。
- ・積極的に情報を発信して家庭や地域の一体化を図る
- 13) 外部人材や地域教材・地域施設・学びのキャンパスプランニングを通して体験活動を推進し、郷土愛を育て、将来に対する希望をもたせる。
 - 14) 学校理解につながる教育内容・情報を可視化・発信する。
学校行事・授業公開・各種おたより・学校HP・掲示物・配信メール・電話連絡等や、PTA・学校運営協議会と連携する。